

小学校のあり方について考える

町教育委員会では、町内各地区に設置している小学校5校について、少子化による児童数の減少と教育基本法の改正による教育内容の見直し、学校施設の耐震化など、小学校教育における様々な課題があることから、本町の小学校が今後どうあるべきかについて、平成22年2月から保護者や地域住民の方々と懇談を行い検討してきました。また、平成24年7月に、懇談会などのご意見を基に、教育委員会として「ダム上（幾寅・北落合・落合地区）に1校・ダム

下（金山・下金山地区）に1校」との小学校のあり方に関する基本方針をまとめ、更に保護者や地域住民との懇談や意見交換を重ねてきました。

その結果、保護者並びに地域住民の皆様においても、「ダム上1校・ダム下1校」との理解を得られてきているところです。

これまでの検討における経過と今後のあり方に関する事項について、お知らせいたします。

小学校を取り巻く現状と課題について

(1) 少子化による児童数の減少
 町内の人口減少に伴い、町内に5校ある小学校についても、児童数が減少し、今後の小学校入学者は、町内全体合せても20人を切る見込である。5校のうち、幾寅小学校が小規模校であり、幾寅小学校以外の北落合小学校、落合小

学校、金山小学校、下金山小学校は、児童数が10名前後の過小規模校となっております。また、学級編成については、幾寅小学校は、1学年1学級の単式学級となっておりますが、幾寅小学校以外は、全て2学年で1学級の複式学級を編成しており、飛び式学級（例1年生と3年生で1学級）を編成している学校もあり、更に幾寅小学校においても将来的には複式学級の編成もあり得る状況となっております。

(2) 教育基本法の改正に伴う教育内容の変化
 新しい学習指導要領が小学校で平成23年度から完全実施されています。新学習指導要領では、「確かな学力」を養い「生きる力」を育成することを目指しており、これまでのゆとり教育を大きく転換し、主要教科である国語、算数、理科、社会、体育の授業時数が6学年合せて年間350時間程度増加となり、新たに5・6学年で週1時間の外国

(3) 学校施設の耐震化
 国の新耐震基準が施行された昭和56年以前の学校施設については、耐震性能の向上を図る必要があり、本町の小学校では、平成4年に建設された北落合小学校と各学校体育館を除いて、校舎の耐震化が必要となっております。

(4) 「小学校を取り巻く現状と課題に関する懇談会」の開催
 平成22年2月に小学校の現状や課題について説明するため、小学校の保護者と小学校入学前の保護者を対象とした懇談会を各地区で開催し、意見交換を行いました。また、平成22年夏には、地域住民の皆さんを対象とした懇談会を開催し、地域の皆さんにも小学校の現状や課題について説明を行いました。

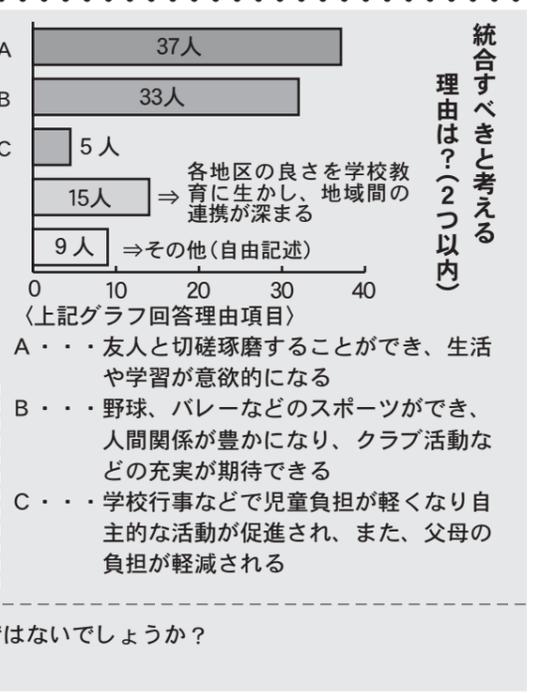
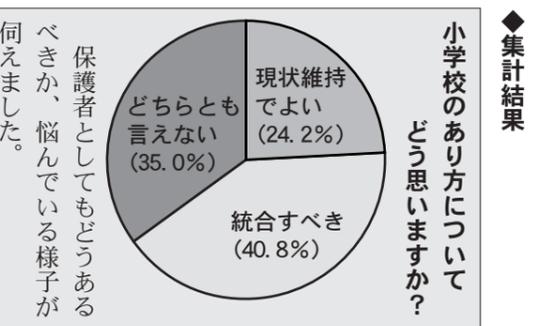
○保護者との懇談会開催状況

| 地区名 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|------------|------|
| 北落合 | 平成22年2月19日 | 4名 |
| 落合 | 平成22年2月16日 | 8名 |
| 幾寅 | 平成22年2月17日 | 8名 |
| 金山 | 平成22年2月18日 | 9名 |
| 下金山 | 平成22年2月15日 | 13名 |

◆地域住民との懇談会
 各地区の皆さんとの懇談では、保護者との懇談と同様に町内小学校の現状と課題について説明し、地域の皆さんから忌憚のないご意見をいただきました。

◆集計結果
 小学校のあり方についてどう思いますか？

| |
|-------------------|
| 現状維持でよい (24.2%) |
| 統合すべき (40.8%) |
| どちらとも言えない (35.0%) |



◆アンケート回収結果

| 地区名 | 調査対象者数 | 回答者数 | 回収率 |
|-----|--------|------|---------|
| 北落合 | 7名 | 5名 | 71.43% |
| 落合 | 13名 | 10名 | 76.92% |
| 幾寅 | 116名 | 88名 | 75.86% |
| 東鹿越 | 1名 | 1名 | 100.00% |
| 金山 | 13名 | 8名 | 61.54% |
| 下金山 | 11名 | 7名 | 63.64% |
| 未記入 | - | 1名 | - |
| 合計 | 161名 | 120名 | 74.53% |

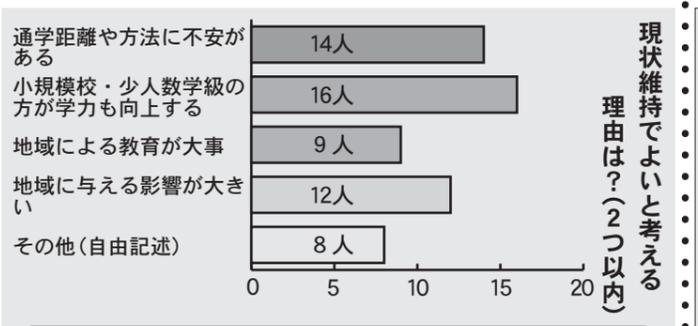
○地域住民との懇談会開催状況

| 地区名 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|------------|------|
| 北落合 | 平成22年9月10日 | 13名 |
| 落合 | 平成22年9月2日 | 17名 |
| 幾寅 | 平成22年9月1日 | 11名 |
| 金山 | 平成22年9月8日 | 13名 |
| 下金山 | 平成22年8月30日 | 15名 |

◆アンケートの主な結果については、次のとおりです。

○上記「その他」主な意見
 ・現時点で特に統合が急がれる理由がない。将来的には児童数の見込がないと仕方がないとも思う。
 ・通学方法や日常生活の中で起きうる問題など統合することによる問題点の方が現状考えると多い。
 ・地域の過疎化が進む。
 ・学校がなくなってしまった後の経済的、精神的ダメージ、居住率ダウンが目に見えている。(地域の)さらなる過疎化が進み、南富良野町全体の活性化にはつながらない。それよりも各学校の特色ある学校と地域づくりを行うべきである。ますます財政の困難さに繋がるだけである。

○右記「その他」主な意見
 ・父兄自体も意見交換でき、早いうちから子どもの成長を支援していく体制がとれて良い。(中学校で一緒になっても、父兄もそれぞれで固まってしまう、意見が合わなかった)その他の理由ですれ違つと、学校行事等にも非協力的になってしまう事があった。
 ・中学校で急に他の地域の子と一緒にするのは子ども自身が慣れるまでに時間がかかり、子どもの負担になるのでは…。
 ・幾寅小以外は、10名未満なので、子どもたちの事を考えると一緒の方が良いと思う。一人でも多い方が勉強やスポーツが楽しいのではないのでしょうか？
 ・ある程度の競争心は必要。友達も多い方が人間関係も豊かになる。



○上記「その他」主な意見
 ・現時点で特に統合が急がれる理由がない。将来的には児童数の見込がないと仕方がないとも思う。
 ・通学方法や日常生活の中で起きうる問題など統合することによる問題点の方が現状考えると多い。
 ・地域の過疎化が進む。
 ・学校がなくなってしまった後の経済的、精神的ダメージ、居住率ダウンが目に見えている。(地域の)さらなる過疎化が進み、南富良野町全体の活性化にはつながらない。それよりも各学校の特色ある学校と地域づくりを行うべきである。ますます財政の困難さに繋がるだけである。

○右記「その他」主な意見
 ・父兄自体も意見交換でき、早いうちから子どもの成長を支援していく体制がとれて良い。(中学校で一緒になっても、父兄もそれぞれで固まってしまう、意見が合わなかった)その他の理由ですれ違つと、学校行事等にも非協力的になってしまう事があった。
 ・中学校で急に他の地域の子と一緒にするのは子ども自身が慣れるまでに時間がかかり、子どもの負担になるのでは…。
 ・幾寅小以外は、10名未満なので、子どもたちの事を考えると一緒の方が良いと思う。一人でも多い方が勉強やスポーツが楽しいのではないのでしょうか？
 ・ある程度の競争心は必要。友達も多い方が人間関係も豊かになる。